昭和 地域ニュース

No. 43

令和4年(2022年)
1月号

発行　中野区昭和区民活動センター運営委員会
編集　広報部会　昭和地域ニュース編集会議

〒164-0001　中野区中野 6-16-20
TEL：03(3368)8164
FAX：03(3368)8168
E-mail:nakano_showa@nifty.com
http://www.nakano-showa.gr.jp/

我が家のアイドル
天神商栄会の鮮魚屋さんの金色の「どじょうちゃん」。5歳半。お店の前を通る子どもさん始め皆さんから「かわいいね」「大きくなったね」と声を掛けられる人気者です。

あけましておめでとうございます

昭和区民活動センター運営委員会会長　稲葉　嘉一

新しい年を迎え、本年が穏やかな年であることを祈らずにはいられません。令和2年、3年は新型コロナウイルスの影響で、思うような運営委員会の事業が行えませんでしたが、昨年の10月には昭和地区まつりを開催することができました。久しぶりにお目にかかる方も多く、顔を合わせて話ができるのはうれしいことだな、と実感しました。新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束することが待たれますが、ウィズコロナでできる事業を検討し、多くの方が楽しめるイベントを行いたいと思います。ご協力、お願いいたします。

参加の皆様(撮影のためマスクを外しています)

天神商栄会物語

天神商栄会は中野5丁目を中心とし、中野6丁目のお蕎麦屋さんまでの商店街です。商栄会の皆様に街中華の老舗「藤華」にお集まりいただき、商店街の移り変わりについてお話を伺いました。

編集部：天神地域に長くお住まいで、地域の事に詳しい皆様にお集まりいただきました。まず、自己紹介からお願いします。

松坂さん

松坂豊作：昭和31年から住んでいて、天神自治会の会長と天神商栄会の企画部長をしています。

髙木正夫：天神自治会の副会長と商栄会の副会長をしています。この土地で昭和24年に生まれ、育ちました。

加藤芳松：商栄会の顧問をしています。昭和31年から中華の「藤華」を営んでいます。

石原宏祐：商栄会の会計をしています。生まれも育ちも天神、昭和21年生まれです。

加藤(節)さん

加藤節子：天神自治会の書記をしています。生家は「乭良久(きらく)」という蕎麦屋で、住み込みの人が二人いました。昭和28年生まれです。

編集部：神社や石仏は元禄年間からあったようですが、地域にとってどんな存在でしょうか。

髙木：天神神社は、青梅街道から新井薬師へ行く参道の道しるべの一つでした。

石原：地域の方々が社殿などを寄進したようです。大正2年に私の父親が生まれた頃には、お茶屋さんなどの小さいお店がポツンポツンとあったそうです。

加藤(芳)：パン屋が戦後すぐにでき、そのご主人が商栄会の最初の会長さんでした。

髙木さん

髙木：商店街ができたのは戦後すぐくらいです。天神商栄会という名前もできました。

編集部：加藤節子さんに書いていただいた商店街の図があるのですが、追加があればお願いします。

加藤(節)：この図は約50年前、一番商店街が栄えた頃です。

松坂：昭和30～40年代には、80軒前後の商店がありましたね。

加藤(芳)：うちの前は川だったんですよ。

松坂：落ちたことがあります(笑)。

加藤(芳)：風呂屋(天神湯)の前の通りが、一番賑やかでした。

石原：丸正は初め北側１軒だったんですが、足りなくなって南側も借りたんです。

松坂：丸正は昭和33年頃から20年くらい前まであり、いろいろ売ってました。

加藤(芳)：どこのお店も初めはレジがなく、ザルを吊るしてお金を入れてましたね。

石原さん

石原：たまにそれをひっくり返すと川に落ち、子どもが拾えましたよ(笑)。昔は家庭にテレビがなかったので、テレビがある店にはプロレスやボクシングを観るために大勢の人が集まっていました。

(皆様は記憶をたどりながら、図を完成してくださいました…下図)

髙木：もっと店はありましたが、全部は無理ですね。

石原：肉屋が3軒、総菜屋や魚屋・雑貨屋もあり、商店街で何でもそろいました。

加藤(芳)さん

加藤(芳)：午後2時すぎになるとゾロゾロ。買い物客がすごかったです。ラーメン１杯30円の時代、忙しいなんてもんじゃなかったですよ。

石原：交通標識を見ると、16時から18時は進入禁止になっているのはその名残りです。

松坂：この当時はスリも出ました。

加藤(節)：ガードを越えて城山の方から大勢買いに来ていました。

編集部：商店街はいつ頃から変わったんでしょうか。

石原：飯田百貨店とライフができてからですね。

加藤(節)：飯田百貨店は1967年、ライフは1998年にできました。

髙木：ライフの影響が大きいですね。

石原：この辺に住んでる方は中野駅から帰る途中、１か所で済むのでライフで買物するようになりました。

髙木：2000年に大規模小売店舗法が廃止されスーパーが遅くまでやれることになったのが、致命的でした。

石原：お客さんが来なければ、息子に継がすこともできない。大型のスーパーが2軒できたために、商店街は衰退していきました。

編集部：今後商店街はどうなっていくでしょうか。

松坂：コンビニもでき便利になり、客の流れが変わってきました。客が逃げない店が残っています。

石原：現在商栄会に加入しているのは20軒ほどです。

加藤(芳)：今度、中野駅の西口ができるからこっちが寂しくなります。今でも人通りが少ないのに。

石原：島忠か織田文化あたりに出口を作ってくれ、と昔から言ってるがダメなんですよ。

松坂：今加入している約20軒で、力を合わせて存続していきたいと思います。

編集部：皆様貴重なお話をありがとうございました。

天神商栄会旅行　香取神宮　昭和 48 年 1 月(写真提供：加藤節子さん)